

30教育庁による一次評価（東京都立埋蔵文化財調査センター）

【管理状況に関する評価】

大項目	中項目	確認項目							
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか		配点	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る		
					2点	1点	0点		
		施設保守・点検備の	電気・機械・防災・建築設備保守点検 日常点検・定期点検の実施	×1		1			
			縄文の村設備保守点検 日常点検等の実施	×1		1			
			維持・保全 施設の修繕等の実施	×1		1			
		施設清掃等	日常清掃 通常清掃・定期清掃の実施	×1		1			
			特別清掃 定期清掃の実施	×1		1			
			樹木保護等 定期清掃等の実施	×1		1			
		受付・管理業務	施設警備 施錠・巡回等の実施	×1		1			
			受付業務 来館者受付、受付周辺の点検等	×1	2				
出土品管理 出土品の保管・管理	×2			2					
人員配置 考古学の専門知識等を有する職員の配置	×2			2					
人材育成の取組 専門性等向上のための研修の実施等	×1		2						
評価内容	・施設整備の日常的な維持管理は、計画書に基づき適切に実施されている。 ・館内の清掃が常に行き届いており、遺跡庭園の定期的な害虫駆除や枝の剪定等を実施し利用者が安全で快適に過ごせるように常に配慮を行っている。 ・利用者アンケートから職員の待遇満足度が著しく高いことが把握でき、受付業務における利用者への丁寧かつ誠意ある対応を常に行っていることは評価できる。 ・調査研究員の世代交代を見据えた技術の承継を行うために、職員の習熟度に応じたカリキュラムを策定し、効率的かつ効果的な研修を実施し育成に努めている。								
管理状況	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか		配点	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る		
					2点	1点	0点		
			防災・防犯への配慮 消防訓練等の実施	×1		1			
			緊急時対策 緊急体制等の確立	×1		1			
			施設管理に関する書類等 点検表等の作成	×1		1			
			事故への対応等 事故等発生時の対応、都への報告	×1		1			
		評価内容	・震災等を想定した全体避難訓練に加え、自衛消防隊や休日の小人数配置を想定した消防避難訓練を実施している。 また、職員に救命救急講習を受講させ、利用者等の緊急時に備えてAEDを用いた救急救命訓練も実施している。						
		管理状況	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか		配点	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る
							2点	1点	0点
					個人情報保護等の取組 情報管理規定の策定、研修等	×1		1	
各種法令等の遵守 研修等の実施	×1					1			
都への報告・連絡 迅速な連絡	×1					1			
情報事故への対応 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等が発生しなかったか	×1					1			
評価内容	・法令等の遵守は問題なく行われており、個人情報保護に関する研修や汚職非行防止研修を実施している。 ・毎月、教育庁職員との定例会議を実施し、常に情報共有しながら業務を行っている。 ・体験教室のインターネット申込みや無料Wi-Fi接続設備導入にあたってはセキュリティ対策を徹底し、情報管理に関する事故等は発生していない。								
管理状況	適切な財務・財産管理			適切な財務運営・財産管理が行われているか		配点	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る
							2点	1点	0点
					経営状況(安定的な運営) 収支状況等	×1		1	
		経理処理 経理の明確な区分、経理状況の明確化	×1			1			
		都有財産(物品等)の管理 保全物品管理等	×1			1			
		経理に関する書類等の管理 帳簿、関係書類の整備、保存 (指定期間終了後5年間)	×1			1			
		評価内容	・平成30年度指定管理事業としてはほぼ収支均衡となった。健全な財政状況である。 ・物品等の管理については協定に基づき適切に行われている。						

【事業効果に関する評価】

大項目	中項目	確認項目					
事業効果	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか		配点	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る
				2点	1点	0点	
		年間事業	公開事業 常設・企画展示、復元住居での火焚き等年間事業計画の実施	×2	4		
			資料貸出 貸出し状況等の確認	×1		1	
		企画事業等	企画事業等の実施・成果 企画事業等の実施状況	×2	4		
			サービス向上に向けた取り組み 新たな取り組み等	×1		1	
	評価内容	・指定管理事業計画に基づき、すべての事業を確実に実施している。 ・すべての体験教室等へのインターネット申込対応、QRコードを活用した英文解説による外国人利用者の利便性向上など、利用者目線での事業展開を行っている。また復元住居での火焚き日数を大幅に増加したことで利用者の満足度向上につながった。 ・平成30年度企画展として東京都島しょの発掘調査結果を都内で初めて展示した。多摩ニュータウン資料以外の都城全体の遺跡調査結果の展示を積極的に行っているところは高く評価できる。					
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか		配点	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る
				2点	1点	0点	
		事業企画の成果	利用者数(27,500人)	×2	4		
		利用促進への取組 PR等の拡充	×1		1		
		公開日数 展示ホール、遺跡庭園の通年公開(展示替・年末年始を除く)	×1		1		
評価内容	・利用者数は5年連続28,000人を超える結果となった。特に「縄文ワクワク体験まつり」では過去最高の1,771人の参加があり、事業企画等の創意工夫の成果として高く評価できる。 ・30年度新規事業として幼児も参加できる「夏休みワークショップ・縄文パクパクを作ろう」を実施するなど幅広い年齢層への事業企画を行い、更なるサービス向上に努めている。						
利用者の反応	事業内容等について利用者の満足を得られているか(満足度80%以上)		配点	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
			2点	1点	0点		
	職員の接客対応	職員の親切さ、説明のわかりやすさ	×2	4			
		利用者の満足度、利用者ニーズの把握 アンケートの実施	×1		1		
		施設設備 施設の清潔さ、明るさ等	×1	2			
		苦情等への対応 苦情対応・意見集約	×1		1		
評価内容	・利用者の年齢構成やリピート率・満足度を把握するため、一般利用者・イベント参加者・学校見学でアンケートを実施し、今後の事業展開のためのデータ分析を行っている。アンケートの結果、全利用者の満足度は昨年度に引き続き90%を超えており、特に職員の接客満足度は97%という高い結果となっている。日常的な利用者への丁寧かつ誠意ある対応は高く評価できる。 ・お客様の声には可能なものから迅速に対応しており、体験コーナーに小さなお子さんの踏み台、遺跡庭園に休憩用の丸太椅子の設置を行うなど、多くの施設改善を行い利用者の利便性の向上につなげている。						

特記事項	・老朽化による改修工事の実施に伴いやむなく19日間の展示ホールの臨時休館を行ったものの、昨年度の利用者数より増加した。これは利用者目線に立った事業企画や運営、施設管理や質の高い接遇の結果であり高く評価できる。 ・毎月実施する定例会だけではなく改修工事に計画の段階から参加するなど、教育庁との連携を密にし情報共有を行っている。 ・現場で即戦力として活用するための人材育成の強化により、引き続き質の高いサービスとレベルの高い知識の提供を期待する。
------	---

【一次評価結果】

評点	標準点	評価基準			
		S	A+	A	B
		標準点の1.33倍 (小数点以下切上)以上	S-1点以下 標準点の1.25倍 (小数点以下切上)以上	A+-1点以下 B+1点以上	標準点の0.88倍 (小数点以下切捨)以下
40点	54点以上	50点以上	36点以上 49点以下	35点以下	

一次評価結果	得点	A+
	51	

**【確認事項】**

**1. 財務状況**

指定管理者の財務状況	<p>・平成30年度の財務業績は、経常収益6,799百万円、経常費用6,813百万円で、当期経常増減は△14百万円の赤字であった。（前期は△74百万円の赤字）</p> <p>・事業別の内訳では、公益目的事業が△36百万円の赤字（スポーツ事業△35百万円赤字、埋蔵文化財事業△0.6百万円赤字）で、収益事業が22百万円の黒字、法人会計が0.4百万円の黒字であった。公益目的事業では、スポーツ事業が東京体育館及び東京辰巳国際水泳場の休館の影響により赤字となったが、埋蔵文化財事業はほぼ収支均衡となった。なお、埋蔵文化財事業では、調査事業資産取得積立金139百万円を取崩し調査機器を購入している。</p> <p>・現預金1,434百万円と特定資産7507百万円があり、資金繰り上の問題はない。公益財団であり、収支均衡の経営を堅実にやっている。</p>
------------	--

**2. 特命要件の継続**

特命要件の継続	特命要件が継続しているか		
	埋蔵文化財調査の本部施設として、本施設の設置目的と合致した活用が図られているか	○ 合致している	合致していない
	都立埋蔵文化財調査センターの目的を達成するため、考古学の知識と経験を有する学芸研究員を従事させ、埋蔵文化財や史跡の適切な保存及び活用が遂行されているか	○ 適切である	適切でない
	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団が調査した埋蔵文化財資料（特に多摩ニュータウン発掘資料）を中心とした展示・情報発信が行われているか	○ 実施している	実施されていない
	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団の自主事業と本指定管理者業務が相互に一体的に活用され、事業の充実と効率化が図られているか	○ 適切である	適切でない
<p>&lt;評価の内容&gt;</p> <p>・施設は埋蔵文化財調査の本部施設として、設置条例に定める目的と合致して活用が図られており、考古学の専門知識を有する学芸研究職員により埋蔵文化財等の保存活用を適切に実施している。</p> <p>・発掘調査成果を活用した展示や工夫を凝らした企画事業で東京都全体の埋蔵文化財保護の情報発信を実施している。</p> <p>・指定管理業務と共に自主事業も充実させることにより、施設全体の事業の充実と効率化が図られており、特命要件は継続されている。</p>			